今月の予定

7日（水）　お誕生祝膳
11日（日）　建国記念日
12日（月）　振替休日
23日（金）　天皇誕生日

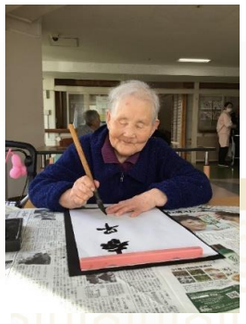
梅のさと便り 2月号

No. 408 R6. 2. 1
梅光苑　文芸部

お正月　お屠蘇（おとそ）と書初めでお祝いをしました

一年間の邪気を払い、長寿を願ってお屠蘇（おとそ）を召し上がっていただきました。

書初めも、今年一年の抱負や目標を一生懸命書き上げていらっしゃいました。
今年一年、病気、怪我なく元気で楽しく過ごして頂きたいです。



JA グループ山口より「山口みかん」をいただきました

1月19日（金）、JAグループ山口より「山口みかん」の贈呈がありました。
担当者の方は「美味しい山口みかんを、ご利用者の皆さんに食べて頂き、これからの寒い冬を乗り越えてほしいです」と話していました。ありがとうございました。

初詣に参りました

一月中旬、各棟に分かれて、入所者の皆さんと秋穂八幡宮へ初詣に出かけました。真冬の寒風の中ではありましたが、晴天に恵まれた一日でした。
ご利用者は、今年の運勢をおみくじで占い、「大吉じゃった」。「わしは中吉じゃ」など、はしゃぎながら話していました。そして「今年も元気でいられるように」と一年の健康と無事息災を願って手を合わせていました。

かわばた邸　2月のイベント情報

いきいきひろばに
歌手が来邸！
どなたでもどうぞ

毎週　水曜日10：00～12：00　百歳体操（元気いきいきひろば）
　　金曜日13：30～15：30　百歳体操（元気いきいきひろば）
10日(土) 13：30～15：30　カフェかわばた　参加費100円
　　薬剤師さんの薬のお話し。仁成堂薬局 阿知須店　大谷嘉嗣 先生
12日(月) 13：30～15：30　カフェかわばた　参加費100円
　　おしゃべり会　みんなで盛り上がりましょう
14日(水) 11：00～12：00　山口ケーブルテレビ番組「大好き！昭和ラプソディー」収録
21日(水) 13：00～16：00　囲碁の会
28日(水) 13：30～15：30　うたごえ喫茶　みんなで歌おう
※CDコンサート・オカリナ演奏会はお休みです。またの機会をお楽しみに。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。
ご確認ください。

『　冬の楽しみ・冬の遊び　』

特別養護老人ホーム梅光苑

当苑では、インドネシアからの外国人技能実習生(女性)が１０名働いています。彼女たちの国には、日本のような「四季」は無く、大きく分けて「雨季」と「乾季」の二つの季節しかないそうです。そんな彼女たちに「冬の楽しみ・冬の遊び」について語ってもらいました。

令和3年、来日して初めての冬、日本の「雪」を見た時はとても感動しました。そして、雪の感触を感じながら「雪ダルマ」を作って大騒ぎをしました。締めくくりはみんなで「雪合戦」。とても楽しかったです。早速、インドネシアの家族に、雪の積もった風景や雪ダルマの写真をLINEで送りました。

これからが冬本番。「雪景色を早く見たいような、見たくないような」と、ためらいがちな彼女たち。「やっぱり、寒いのは苦手なんです」と本音もチラリと語ってくれた。

グループホーム　陶ヶ岳

子供の頃は、雪が降る日はワクワクしていましたが、大人になると雪の日を素直に喜べなくなってきたような気がします。

それでも、利用者と一緒に外に積もっている雪を見て雪だるまを作ったり、雪や凍った地面の上を歩いた時のザクザクという音や感触にふれると、ワクワクした気持ちになります。皆さん笑顔で、子供の頃に帰ることができますね。

グループホーム　希望の里

「冬の楽しみ方・冬の遊び」というテーマですが、約50年前はまだ雪も多かったし、今の様にテレビゲームやスマートフォン等が無い時代でしたので、外に出て雪合戦や雪だるま作りや道路の坂を、そりで滑って遊んでいた記憶があります。

ご利用者にもお正月での遊びを聞いてみると「羽子板」や「かるた」と一般的な事を言われる方が多かったのですが、中には冬に「竹馬」を作って遊んでいたよと言われる方もいらっしゃいました。

自分も小学生の時、この時期に竹馬を作って学年で徒競走みたいに競い合う行事がありました。これは意外と楽しかった記憶があります。

現在はデジタル化になっていますので、中々子供が外で遊ぶ姿を見ませんがやはり昔の遊びは楽しかったと思います。

デイサービス

「冬の楽しみ・冬の遊び」をご利用者へ「何ですか?」と伺うと1月は、「羽子板で羽根つきや凧あげをしましたが、今はほとんど見なくなりました。」と話されていました。

ご利用者へ「子どものころ、暖はどのようにとっていましたか。」と聞くと「火鉢」「ほりこたつ」など答えが返ってきました。

また、「こたつに入ってみかんを食べるのもいいね。」と言われるご利用者も居られました。

現代は、エアコンやファンヒーターがあり便利になりました。

寝る時は、電気毛布を使っているよと言う声もありました。

一番多かった声は、「デイサービスに来ること。」「デイサービスに来て人と話したり楽しいです。」「体操をすると身体が暖まるよ。」と心あたたまる声がありました。

デイサービスに来て寒い冬を元気に乗り越えましょう。

居宅介護支援事業所

寒い冬に楽しかったことは“だいがら”での餅つきです。

初めて見たときはあまりの大きさに驚いたことを覚えています。なかなか会えない親戚の叔父叔母達と大勢で一日お餅を丸めていた頃が懐かしいです。周りに男の子が多かったので、お正月には兄や従妹達とコマ回しや凧揚げをして遊んでいました。コマは紐の結び方が難しく、うまく回らなくて泣いたことを覚えています。

最近は、カルタやすごろくなど室内で過ごす遊びが多くなりましたが、昔の遊びを思い出すと本当に懐かしいです。

梅の里　かわばた邸（地域連携室）

冬の楽しみは、「こたつでミカン・こたつでテレビ」と皆さんの声。外に出てこけてはいけないので、自宅であったか、ぬくぬくが幸せだそうです。

それでも子供の頃は雪が楽しくて、大はしゃぎをしたこと、雪道を上級生におぶってもらって登校したこと、竹スキーを楽しんだことなど思い出話はたくさん出てきました。

女の子でも男の子に負けないように雪玉を作ってした雪合戦やかまくらが作れるほど雪が降った話、火鉢の上でお餅が膨らむのをまだかまだかとワクワクしながら待った美味しい話も。みなさんそれぞれに懐かしい風景が浮かんできたようです。

百歳体操　見守り続く　ぼたん雪　（華村）